



令和3年12月13日

議長 寺坂寛夫様

議会改革検討委員会

委員長 砂田典男



諮問事項に対する提言(第1次)

令和3年4月19日付けで諮問された事項のうち、委員会がこれまでに調査研究を行い結論が出た事項について、鳥取市議会議会改革検討委員会設置要綱第2条の規定に基づき、別紙のとおり提言します。

なお、当委員会は、引き続き本件以外の諮問事項について検討を重ねてまいります。

諮問事項 会議の公開について（TV中継への手話通訳の配置について）

本検討委員会では、議長からの諮問と障がい者団体からの要望を踏まえて、手話通訳配置と字幕付与を中心に、情報伝達方法についての調査研究を行いながら、議論を重ねてまいりました。

基本的な考え方としては、聴覚障がい者への情報保障は重要との認識で一致しました。また、改革の方向性としては、鳥取県手話言語条例に基づいて県内で様々な取り組みがなされるなか、鳥取市議会としても現状維持にとどまるのではなく、課題解決に向けて施策を進めるべきであること、実施可能なものから着手し、課題が出れば引き続き検討する方向で進めるべきであるとの意見で一致しました。

手話通訳の配置については、鳥取県や倉吉市をはじめとする他自治体での実施状況を調査するとともに、手話通訳の派遣体制と、鳥取市議会において備えるべき条件について、通訳者を派遣する団体への照会を行いました。

検討の過程では、通訳配置は可能であり、要望に応じ手話通訳を配置できる体制を直ちに整備すべきという意見が出される一方で、通訳者数確保と資料提供の面で、懸念する意見が出されました。

協議の結果、手話通訳の配置を前提に、試行期間を設けて、正確な情報発信のため、通訳者と議会の求める要件の一致点を見出すことが必要との結論に至りました。

字幕の付与については、A I 翻訳による字幕生成の方法と、他自治体での導入事例につき調査を行いました。

調査の結果、放送法上の規定により、ケーブルテレビへのA I 翻訳による字幕付与は直ちには困難であることから、文字変換アプリである「UDトーク」を活用して、議場傍聴時にタブレットなどを使って字幕を表示する方法と、リアルタイム字幕をインターネット中継に掲載する方法の2点を中心に検討を行いました。

検討の過程では、「UDトーク」とリアルタイム字幕の双方を即時導入すべきという意見が出される一方で、受信環境の状況や導入効果を確認すべきとの意見が出されました。

協議の結果、字幕付与を前提に、試行期間を設けて、正確な情報発信のため、導入効果を確認することが必要との結論に至りました。